

平成16年12月7日

各 位

| | |
|---------|------------------------------|
| 会 社 名 | セガサミーホールディングス株式会社 |
| 代 表 者 名 | 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 里 見 治 |
| | (コード番号 6460 東証第一部) |
| 問 合 せ 先 | 執 行 役 員 深 澤 恒 一 |
| | (電話番号 03-6215-9955) |

当社子会社の業績予想修正に関するお知らせ

当社のグループ会社である株式会社日商インターライフは平成16年7月16日付「平成16年5月期決算短信（非連結）」及び平成16年9月30日付「平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況（非連結）」にて発表いたしました平成17年3月期（平成16年5月21日～平成17年3月20日）の業績予想について、別添のとおり特別損失の発生により修正いたしましたのでお知らせいたします。

尚、当社の業績への影響は軽微なものであり、当社の業績予想の修正はございません。

以上



平成 16 年 12 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社日商インターライフ
代表者名 代表取締役社長 湯浅 勝秀
(登録銘柄・コード 1986)
問合せ先 上席執行役員財務部長
役職・氏名 正野 達好
電話 03-3810-7111

特別損失の発生及び平成 17 年 3 月期中間業績予想との差異及び 通期業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記のとおり、特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成17年3月期(平成16年5月21日～平成17年3月20日)の業績予想について、平成16年7月16日付当社「平成16年5月期決算短信(非連結)」及び平成16年9月30日付当社「平成17年3月期第1四半期財務・業績の概況(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

当社は、平成16年12月7日開催の取締役会において、過年度損益修正損215百万円を特別損失に計上することを決議いたしました。

過年度損益修正損の内容は、当社の総合工事の一部の社員が、会社の決められた業務フローに則っていない処理を行っていたことが判明し、その内容を調査した結果、計上すべき原価を翌期に繰り越していたものであります。

2. 今後の当社の対応について

今回の問題は、一部の社員において業務フローに則した業務・管理が行われていなかったことに起因しております。

再発防止対策のため、セガサミーホールディングス株式会社の監査部門と当社において業務改善委員会を設置いたしました。

具体的には、個別工事の受注に際しては、原価の見積りと工事進行のチェックを本社サイドより実施して、ルール逸脱を未然に防止できる体制を確立するとともに、業務改善委員会により、更に詳細を詰め、監査役・内部監査室が連携し、定期的に部門の業務チェックを実施し、取締役

会に状況の報告を行います。

今回の問題を全役員・全社員で深く反省し、業務管理責任として、役員、関係者に対してそれぞれ減俸、譴責処分を行うとともに、全力で再発防止に取り組んでまいります。

3. 平成17年3月期の業績予想の修正について

(1) 当中間期（平成16年5月21日～平成16年11月20日）の業績予想の修正

(単位：百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 中間純利益 |
|-----------|--------|------|-------|
| 前回予想 (A) | 9,800 | 130 | 145 |
| 今回修正 (B) | 10,136 | △5 | △236 |
| 増減額 (B－A) | 336 | △135 | △381 |
| 増減率 | 3.4% | — % | — % |

(2) 修正理由

当中間期の業績予想につきましては、遺憾ながら、中間純損失となる見込みであります。主な要因は、過年度損益修正損215百万円の計上及び当期における赤字現場の発生によるものであります。

(3) 通期（平成16年5月21日～平成17年3月20日）の業績予想の修正

(単位：百万円)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------|--------|------|-------|
| 前回予想 (A) | 16,500 | 240 | 260 |
| 今回修正 (B) | 16,636 | 5 | △236 |
| 増減額 (B－A) | 136 | △235 | △496 |
| 増減率 | 0.8% | — % | — % |

(注)平成17年3月期は、決算期変更のため10ヶ月決算となります。

(4) 修正理由

通期の業績予想につきましては、今後も受注競争は激しく、厳しい経営環境が続くと思われ、当中間期の業績と今後の業績を考慮いたしました結果、当期純損失となる見込みであります。

なお、当期の期末配当につきましては、当初予想どおり、期末配当1株当たり7円50銭を実施する予定であります。

ご参考：前期の実績（平成15年5月21日～平成16年5月20日）

（単位：百万円）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-----------------|--------|------|-------|
| 中間期（15/5～15/11） | 10,579 | 616 | 280 |
| 通期（15/5～16/5） | 20,171 | 850 | 475 |

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上